た。「医療構造改革の目指すもの」と題し、先に成立した医療構造改革関連法の円滑な施行のため、医療構造改革の内容を解説すると

るなど、医療の改革を重点に置く内容となった。
政府が掲げている医療構造改革は、生活習慣病対策推進による患者数の減少、

診、保健指導などによる予防の重視、診療所から高度専門医療センターに至る、医療機能の分化による切れ目ない医療の提供、高齢者

健康日本21

生活習慣病予防の推進や国民健康づくり運動「健康日本21」を提唱している健康日本21は、十一月二十三

〇〇7」を、有明コロシアムで開催する。
医療関係者と共に歩くウォーキング大会（三～一三キロメートルの四コース）のほか、

参加無料。参加申込及び詳細は、フェスタ実行委員会ホームページ（http://www.ishitoaruko.jp/）から。

「安全性・エビデンスの確保を」

■アガリクス・ブラゼイ協議会■

臨時総会と講演会を開催

小冊子発刊など発表

アガリクス・ブラゼイ協議会の臨時総会及び講演会が、九月十一日、東京都内にて開催された。

はじめに、日本補完代替医療学会理事長の鈴木信孝氏が「医療従事者から見たアガリクス」のテーマで講演。アガリクスを含めた健食全体の安全性について、「機能性よりもとにかく安全性を重視し、末端製品で試験してほしい。日本医師会は食品の安全性に関する委員会を設立した。アガリクス・ブラゼイ協議会では、米国のGRASと似た自主基準を設けているので、国内外の健食企業の模範となるように活動していってほしい」と要望した。

鈴木氏は講演中、二〇〇一年のガン患者三〇九五人に対するアンケートで、四五%が補完代替医療（CAM）を利用し、そのうち八九%が健食を摂取していると説明。健食利用者は、ガンの進行抑制・改善を一番の目的にしており、健食利用者中のアガリクス利用者は六〇%と最も多いと報告。さらにCAMの一カ月平均の利用料金が五万七〇〇〇円であるといった調査結果にもふれた。また、国内の医師はアガリクスに対する患者の質問に答えられるようにエビデンスを持つべきで、米国ではアガリクスなどに含有するβ－D－グルカンの抗ガン作用については分子メカニズムを解明しており、全世界的に天然物を研究する方向へ進んでいると解説した。

アガリクスの有用性を説明する鈴木信孝日本補完代替医療学会理事長

第二部の同協議会事業計画発表では、消費者への風評回復のPR活動として事務局常駐スタッフによるコールセンター対応のほか、活動内容やアガリクスの機能性などをまとめた小冊子の配布（十月頃）、加盟企業製品の監視機能強化等の総会決議事項を発表した。

健全協

第31回研修会を開催

法律関連の講演で注意喚起

健康産業全国協議会（＝健全協、原田一弥会長）は九月十四日、東京都品川区のゆうぽうとで「第三一回研修会」を開催した。宣伝講習販売を取り巻く法律の現状と対策に関する講演では、規制強化の傾向が指摘されるなど、業界の今後の見通しが厳しいものであることが浮き彫りになった。

研修会に先立ち挨拶に立った原田会長は、「今の業界を季節に例えるなら冬だが、冬の次には必ず春が来る」と会員を激励。

原田一弥会長

次に、ADHD（注意欠陥多動性障害）などの障害に対して神経伝達物質の有効性について研究・活動を行っている倉敷市立短期大学保育臨床専攻教授・平山諭氏が講演を行い、同氏の研究成果を営業の場で応用するケースについて解説。「相手の脳を喜ばせる」（平山氏）には、セロトニンを分泌する脳の扁桃体とドーパミンを分泌する前頭葉の活性化が重要として、見つめる、微笑む、リズミカルに話すなど、分泌を促す具体的な動作を紹介した。

続いて、顧問弁護士を務めるさくら共同法律事務所の千原曜氏が、七月に改正された都条例と来年改正予定の特商法について講演。都条例に関しては宣伝講習販売に大きな影響はないとしたものの、条例25条1項4号の禁止行為のうち規則7条10号に定められている、販売目的以外または無償や著しい廉価の商品を供給して消費者の心理を正常な判断ができない状態に陥れて契約を結ぶ行為に該当すると、「社名公表の恐れがある」（千原氏）として会員に注意を喚起した。

特商法に関しては、現在検討されている登録制の導入や割賦販売法との連携、再勧誘の禁止などについて解説。検討レベルではあり、法制化の見込みは立っていないが、引き続き注視することが重要と話した。

研修会後には懇親会が行われた。同協議会の会員数は現在五三社。すでに七社の申し込みも受け、年内には六〇社に達する見込み。

高齢者の牛乳

日本酪農乳業協

㈳日本酪農乳業協会が主催する第一五回メディアミルクセミナーが九月四日、東京の大手町サンケイプラザで開催された。桜美林大

機能性新素材

2◁

ば、偏食、無理なダイエット、食べ過ぎ、抗生剤の長期服用、ストレス、疲労、

が報告されています。
また、動物実験から、免疫力の増強、排便の促進、

まった毒素などを体外に排出し、腸を清潔にする役割もあります。健康な消化シ

る原因にもなり、さらには糖尿病などのいわゆる生活習慣病の原因ともなり得る